

## 1 題材名「My キャラが動き出す」（5 学年，工作）

自分オリジナルのキャラクターをつくり，その動かし方やストーリーを考えて表す活動を通して，楽しく活動に取り組む態度を培うアニメーションに表す題材である。

オリジナルキャラクターは軽量紙粘土でつくった。登場する場面やストーリーの中での動きを想像し，キャラクターの動かし方や背景などを試しながら，タブレット端末で撮影した。撮影には無料で提供されているアプリを活用した。撮影後は，全員でアニメーションを鑑賞し楽しんだ。

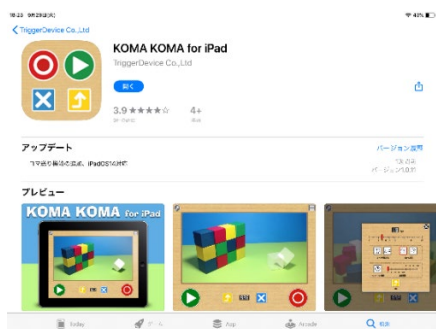
## 2 学習の流れ

① 1 次 (45分)	○アニメーションをつくる仕組みを知り，つくってみたいオリジナルキャラクターをアイデアシートにかく。
② 2 次 (180分)	○軽量紙粘土オリジナルキャラクターをつくり，ストーリーを考える。 ○動かし方や背景の組み合わせを工夫して撮影をする。
③ 3 次 (45分)	○電子黒板を使用して，アニメーション鑑賞会を開き，お互いの表し方のよさや楽しさを味わう。

## 3 授業展開

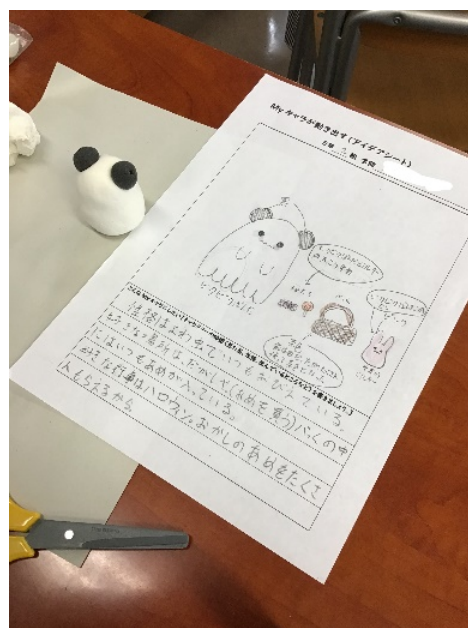
### ① 1 次

タブレット端末でのアニメーションの作り方を紹介し，どんなオリジナルのキャラクターにしたいかを考え，アイデアシートに記入するようにした。



### 今回使用したアプリ

直前に撮影した画像が透かして表示されるため，コマのつながりが分かりやすくなっている。

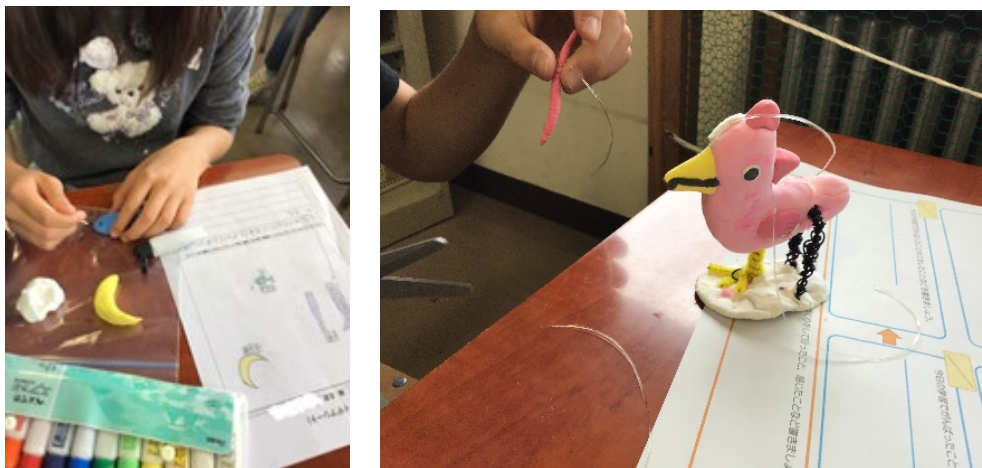


### アイデアシート

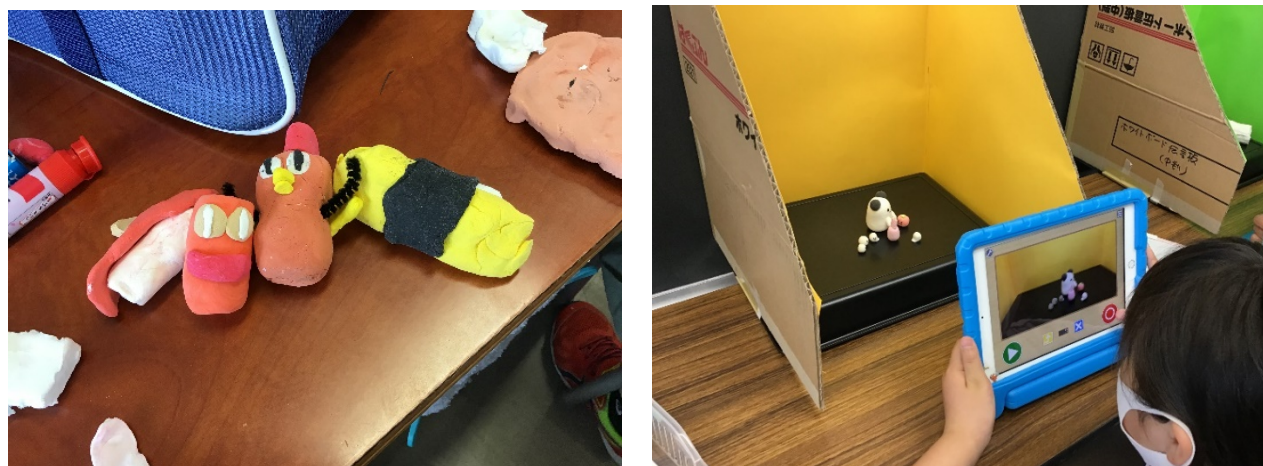
キャラクターの特徴や住んでいるところ，性格なども記入するようにした。

## ② 2次

アイデアシートをもとに、軽量紙粘土でオリジナルキャラクターづくりをした。背景と共に登場させたいもの（木や椅子、お菓子など）もつくった。動かしたり浮かせたりことを想定し、モールや針金、ビーズ用の透明な糸などを活用している児童もいた。児童が使用するタブレット端末には事前に使用するアプリを入れておき、すぐに撮影に入れるようにした。タブレット端末は、撮影したい時に各自が持って行くようにした。お互いに撮影やキャラクターの移動を手伝ったり、動き方を相談したりしながら撮影する様子が見られた。タブレット端末の使用に慣れている児童が多かったため、使い方を教え合いながら活用できていた。



ジャンプをしている様子などを撮影したい児童は、透明な糸を活用していた。



つくりながら、一緒に登場させたいキャラクターを思い付き、追加でつくる児童もいた。



撮影は、段ボールに色画用紙を貼った背景を使ったり、自分が思い付いた場所（教室や廊下、窓際など）を使用したりと、それぞれのイメージに合った場所で行った。

③ 3次

電子黒板を利用し、できた全員のアニメーションの鑑賞会を開いた。鑑賞シートを用意し、お互いの作品のよさや楽しさについて気付いたことを紹介し合った。

My キャラが動き出す

5年2組 名前

㊦ 友だちの作品を見て、キャラクターの形や、動きで気が付いたことや感じたことを書きましょう。

さんの作品	さんの作品	さんの作品
UF0が物としていくときに、本当にとっているような感じで現実的で素晴らしいなと思いました。糸などをエサとして使っていていいと思います。	へびをアジメ切るときに、本当に切った感じがすごいと思いました。へびの体を切った後に食べられたうさぎがでてるところがおもしろかったです。	のびちゃんがお城をつくらるときの下からお城ができるのが本格的で素晴らしいと思いました。
さんの作品	さんの作品	さんの作品
キャラクターがめんどくさいかたです。だんだんいなくなっているのが、ホラー系でおもしろかったです。	「のせてください」ってあるのに1人目も2人目もむして、3人目は見たけれどむしてはおもしろかったです。キャラクターがかわいいと思いました。	ビョクリしているかんじと体もななめにしたりして表現していたのがおもしろかったです。くまのキャラクターがかわいかったです。

My キャラが動き出す

5年2組 名前

㊦ 友だちの作品を見て、キャラクターの形や、動きで気が付いたことや感じたことを書きましょう。

さんの作品	さんの作品	さんの作品
目が糸田かく垂かいていてすこいなと思いた。 (目が●→へ)	本当にUF0に怪物がすこいこまれていくように見えました。目を上すく使っていてすこいなと思いた。	短く、言葉(セリフ)がないのに、カメラの気持も周囲の反応、がとてもよく分かってとてもおもしろかったです。
さんの作品	さんの作品	さんの作品
かわいい顔してるのに、ジャック・オランタンが1人ぼろにな。ちうめか、悲しくて、キッパがおもしろかたです。	「のせてください」の表し方が全くかわらないのと「うらっ」とみるのに、のせてくれないことなど、糸田が作っていてすこいと思いた。	小さい子たちがぶつくてかわいそうだなけど、本がイライラかか上かたなと思いた。

○成果

- ・自分でつくったキャラクターがアニメとなって動き出すという内容が児童にとって魅力的であり、ストーリーの展開を構想し、それに合わせてキャラクターの形や動きをよく考えて表している姿が見られた。
- ・専用のアプリを活用することにより、思うような動きにならなかった時に、途中から何度もつくりなおすことができた。
- ・興味をもった児童が、家庭でもアプリを活用し、作品作りを楽しんでいた。

●課題

- ・作品が動画であるため、展示しておくことができないため、家庭への紹介の方法を今後考えていきたい。
- ・今回は、一人一作品でアニメーションをつくったが、友人のキャラクターと一緒に撮影したり、数人でストーリーを考えたりと共同で制作することもできる題材だと感じた。